

## 現地調査（11／8）における委員指摘事項

No.	区分	委員名	意見要旨
1	事業計画	富樫委員	想定される最大切土と最大盛土について、それらの位置と形状を示すこと。
2	事業計画	富樫委員	調整池の規模と構造がわかるような図を示すこと。
3	事業計画	山室委員	事業計画地は落葉が多く調整池の堆砂量が多くなると想定されるため、その処理計画を示すこと。
4	地形・地質	富樫委員	方法書P86 図2.3-6 地形分類の状況の図について、現地の地形や背景地形図と地形の分類が整合していないので、適切な資料に差し替えること。
5	水象	富樫委員	現地調査地点として計画地内に観測点が全くない。 地質調査用のボーリング孔を利用し、少なくとも1箇所以上は計画地内の地下水位が観測できる井戸を設置すること。また水位測定は一斉観測データとしても利用できるように、天候の比較的安定した日に、一日以内で全箇所の測定を行うよう努めること。
6	水質	鈴木委員	水質及び水象の調査地点No. 7などについては、事業計画地から香坂川に流れ込むまでの間に集落があるなど事業以外の影響要因がある。事業による影響を正確に把握するため、事業計画地近傍に調査地点を追加すること。
7	水象	山室委員	事業計画地からの排水が流れ込む香坂川ではあゆ等の漁業が行われているため、工事が底質へ与える影響を踏まえ、適切に予測評価を行うこと。
8	廃棄物等	山室委員	想定される伐採木の発生量、再利用可能な木材として場外搬出する量、チップ化する量を示すこと。